

日本実験動物技術者協会 関東支部
平成19年度総会・第33回懇話会

2008年2月23日(土)

神奈川県民ホール

jaeat-kanto.adthree.com/index.htm

【会場へのアクセス】

神奈川県民ホール <http://www.kanagawa-kenminhall.com/>

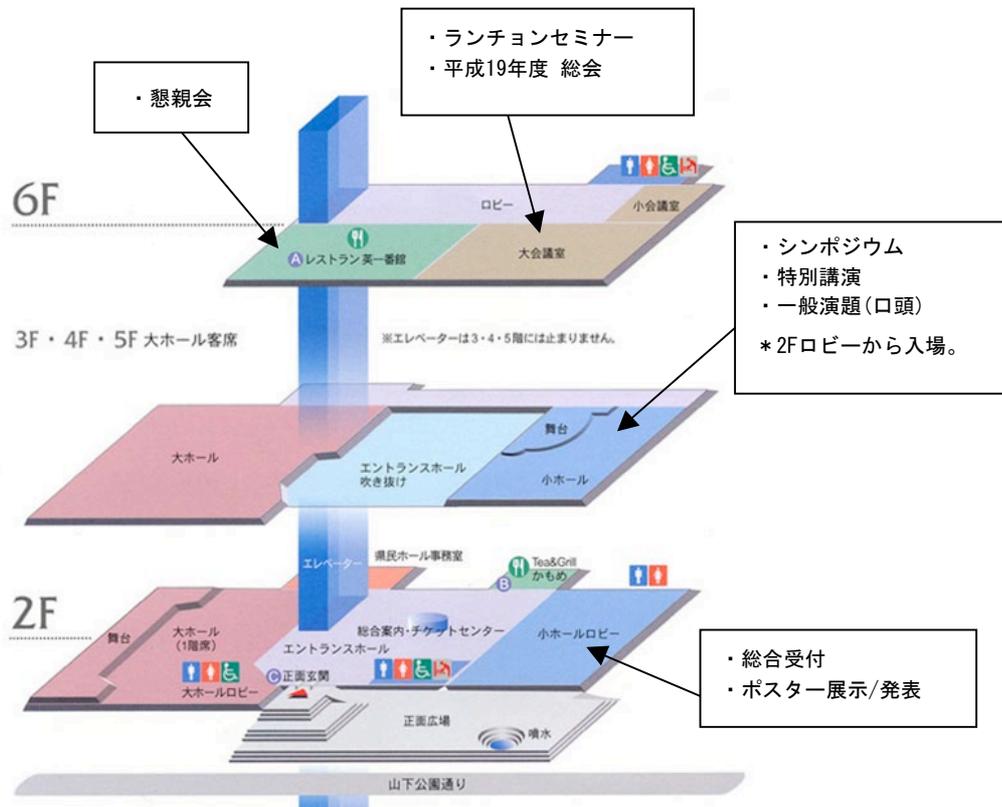
みなとみらい線 日本大通り駅より徒歩6分

JR根岸線・市営地下鉄 関内駅より徒歩約15分



- 横浜駅より みなとみらい線(東急東横線直通)で、日本大通り駅まで約6分。
- 渋谷駅より 東急東横線直通(みなとみらい線直通)で、日本大通り駅まで約35分。
- 新横浜駅より JR横浜線・菊名駅で東急東横線に乘換、日本大通り駅まで約20分。
- 東京駅より JR京浜東北線で関内まで約45分。
JR東海道線・横須賀線で横浜駅まで約30分
- 羽田空港より 京浜急行線で横浜駅まで約30分。

【会場案内図】



【日程表】

	9:00	9:30	10:00	11:00	12:00	13:00	14:10
小ホール 2F	開場	開会式	一般演題/口頭発表	特別講演			
ロビー 2F			ポスター展示				
大会議室 6F						ランチョンセミナー	総会
	14:10	15:00	16:00	17:00	18:00	20:20	
小ホール 2F			シンポジウム			閉会式	
ロビー 2F		ポスター発表	ポスター展示				
レストラン 6F						懇親会	

日本実験動物技術者協会 関東支部

第33回懇話会

「原点と^{いま}現在」

会期 2008年2月23日（土曜日）

会場 神奈川県民ホール

〒231-0023 横浜市中区山下町3-1

TEL:045-633-3696 FAX:045-641-3184

懇話会会長 江藤 智生（財団法人 実験動物中央研究所）

事務局 大竹 俊男（慶應義塾大学）

実行委員 富田 利美（株式会社 ゼリアエコテック）

伊藤 由広（ハムリー 株式会社）

村越 等（社団法人 予防衛生協会）

森田 省吾（株式会社 ナルク）

西山 勤（大正製薬 株式会社）

持田 慶司（独立行政法人 理化学研究所）

小田 晃司（株式会社 田辺R&Dサービス）

加藤めぐみ（三菱化学生命科学研究所）

上條 信一（三菱化学生命科学研究所）

【懇話会 事務局】

〒160-0016 東京都新宿区信濃町35

慶應義塾大学医学部動物実験センター内

担当：大竹 俊男

TEL 03-5363-3667 FAX 03-5363-3668

e-mail:otake@sc.itc.keio.ac.jp

【プログラム】

1 シンポジウム

15:40～18:00 [2 F 小ホール]

「飼育管理を支える3つの技術」

座長 朱宮 正剛 元老人総合研究所
江藤 智生 (財) 実験動物中央研究所

- 1) 「飼育管理の原点」 信永 利馬 元東北大学 医学部 動物実験施設
- 2) 「遺伝統御の現在」 後藤 一雄 (財) 実験動物中央研究所
- 3) 「微生物統御の現在」 林元 展人 (財) 実験動物中央研究所
- 4) 「飼育の現在」 小林 喜美男 (独) 理化学研究所 G S C

2 特別講演

11:25～12:15 [2 F 小ホール]

佐々木 えりか (財) 実験動物中央研究所

「マーモセットの新展開」

司会 外丸 祐介 広島大学 自然科学研究支援開発センター

3 ランチョンセミナー

12:35～13:35 [6 F 大会議室]

「実験動物とそれらを支援するソフト・ハード」

- 1) 凍結受精卵からの個体作出(SPF)による本格的な「マウス生産システム」のご紹介
協賛：日本クレア (株)
- 2) (株) トランスジェニック社における効率的な遺伝子破壊マウス作製について
協賛：(株) トランスジェニック
- 3) 感染性廃棄物のトレーサビリティ (追跡管理) システム
協賛：(株) コシダテック

4 一般演題

1) 口頭発表 [2F 小ホール]

9:35~10:25

佐々木 啓

東京医科大学

O-01 ホルマリンガス滅菌装置による滅菌法に関する検討

その1 ホルマリンガスの浸透性の検討

- 飯田祝子、大坪朱徳、中山隆治、久田茂
あすか製薬(株) 安全性研究部

O-02 ホルマリンガス滅菌装置による滅菌法に関する検討

その2 紙類に関する検討

- 大坪朱徳¹、飯田祝子¹、中山隆治¹、久田茂¹、西山普賢²
¹あすか製薬(株) 安全性研究部、²(株)メディエート

O-03 I 2002~2006年のマウスにおける微生物モニタリング、特にSPFとSPF以外の比較

- 久保村華子¹、岡島泰夫¹、齋藤學^{1,2}
¹(株)メルシャンクリンテック 環境検査センター
²NPO法人バイオメディカルサイエンス研究会

O-04 II 2002~2006年のラットにおける微生物モニタリング、特にSPFとSPF以外の比較

- 岡島泰夫¹、久保村華子¹、齋藤學^{1,2}
¹(株)メルシャンクリンテック 環境検査センター
²NPO法人バイオメディカルサイエンス研究会

O-05 当施設で行っている落下細菌分離同定検査の紹介：過去2年間の結果とその分析

- 倉持知也、石原由夏、萩原克美、富永信子、鈴木政美、沢目敦子、大久保征実
鈴木文子、堀切一美、小泉明子、千葉あゆみ、池田安津志
埼玉医科大学 中央研究施設実験動物部門

10:30~11:20

青砥 利裕

(株)フェニックスバイオ

O-06 膺インピーダンス値から得られる発情回帰パターンに合わせたホルモン処置による若齢ラットの偽妊娠誘起

- 松尾美奈¹、倉持隆司¹、梅垣武史¹、宝珠山京子²、田畑一樹²、上條信一¹
¹三菱化学生命科学研究所、²日本チャールス・リバー(株)

O-07 ホルモン処置により発情同調を促して作出したラット若齢期偽妊娠雌(過排卵+/-)を用いた人工授精の検討

- 倉持隆司¹、小南沙織²、梅垣武史¹、松尾美奈¹、宝珠山京子³、田畑一樹³、上條信一¹
¹三菱化学生命科学研究所、²(株)スポック、³日本チャールス・リバー(株)

O-08 高脂肪飼料給与ラットにおけるイナゴペプチドの脂肪代謝効果について

- 萩原亜紀子、片岡のゆ光、寺田節、森谷直樹、Pudcharaporn KROMKHUN
丁慶、齋藤徹
日本獣医生命科学大学

- O-09 高脂肪飼料給与ラットにおけるイナゴペプチドのレプチン濃度変化について
○片岡のゆ光¹、萩原亜紀子¹、森谷直樹¹、寺田節¹、Pudcharaporn KROMKHUN¹
小暮恵美²、小島正章²、丁慶¹、斎藤徹¹
¹日本獣医生命科学大学、²(株)シバヤギ

- O-10 放射線医学総合研究所で使用されている動物用診断装置の概要 (第1報)
○遠藤節子¹、重兼弘法¹、成川覚²、山口龍二²、箱田詩織²、松田優一²
河合直士²、北爪雅之²、西川哲¹
¹放射線医学総合研究所 実験動物開発・管理課、²(株)ネオス・テック

2) ポスター発表/展示 [2F 小ホールロビー]

展示：10:00～18:00

14:30～14:50 長谷川 孝徳 (独) 理化学研究所

- P-01 多系統マウス2細胞期胚の超低温保存
○江藤智生¹、佐藤晃^{1,2}、板井元^{1,2}、遠藤圭子^{1,2}、上迫努¹
¹(財)実験動物中央研究所 動物資源管理部、²(株)ジェー・エー・シー
- P-02 ガラス化加温胚の実用的な低温輸送方法の検討
○佐藤晃^{1,2}、外丸祐介³、江藤智生¹
¹(財)実験動物中央研究所 動物資源管理部、²(株)ジェー・エー・シー
³広島大学 自然科学研究支援開発センター 生命科学実験部門
- P-03 ガラス化保存胚の新しい加温方法について
○遠藤圭子^{1,2}、上迫努¹、佐藤晃^{1,2}、板井元^{1,2}、江藤智生¹
¹(財)実験動物中央研究所 動物資源開発部、²(株)ジェー・エー・シー
- P-04 超低温保存液を完全化学合成する試み
○板井元^{1,2}、上迫努¹、佐藤晃^{1,2}、遠藤圭子^{1,2}、江藤智生¹
¹(財)実験動物中央研究所 動物資源管理部、²(株)ジェー・エー・シー

14:55～15:15 寺社下 宏一 (株)中外医科学研究所

- P-05 生殖工学的手法による臓器特異的老化モデルマウスの作製と解析
○野田義博¹、川上哲^{1,2}、津田千鶴¹、堀江哲郎¹、小澤裕介¹、石川慎¹
吉田朋恵¹、白澤卓二^{1,3}、清水孝彦^{1,2}
¹都老人研・老化ゲノムバイオマーカー、²東京農工大・院農、³順天堂大・院医
- P-06 BALB/c由来ES細胞株を用いたキメラマウス作製方法の検討
○中務胞¹、上田直矢¹、河西利治¹、中村誠司¹、藤川里恵¹、藤田恒久¹
松下直子¹、阿部学²、夏目里恵²、崎村建司²、山村研一³
¹(株)トランスジェニック、²新潟大学・脳研・細胞神経生物学分野
³熊本大学・発生研・臓器形成分野
- P-07 マウス胚移植に用いる偽妊娠メスマウスの効率的な作製方法の検討
○吉田和年^{1,2}、上迫努¹、佐藤晃^{1,2}、遠藤圭子^{1,2}、板井元^{1,2}、江藤智生¹
¹(財)実験動物中央研究所 動物資源管理部、²(株)ジェー・エー・シー

P-08 ガラス化保存透明帯穿孔卵子を用いた各種系統由来体外受精成績

- 古田祐奈¹、安齋政幸²、宮地志織¹、佐東春香¹、柳美穂³、中島竜之³
川辺敏晃³、金子武人⁴、中潟直己⁴
¹近畿大学生物理工学部、²近畿大学先端技術総合研究所
³アーク・リソース (株)、⁴熊本大学・CARD・資源開発分野

14:30~14:50

安齋 政幸

近畿大学

P-09 放射線医学総合研究所にて行ったマウス体外受精・凍結保存データの総括

- 太田有紀¹、金子由美子²、矢野浩子²、鬼頭靖司²
¹サイエンス・サービス、²放射線医学総合研究所 放射線防護研究センター

P-10 C57BL/6J 幼若マウスを用いた過排卵、体外受精、体外培養、移植後の個体発生

- 鬼頭靖司¹、太田有紀²、金子由美子¹、矢野浩子¹
¹放射線医学総合研究所 放射線防護研究センター、²サイエンス・サービス

P-11 近交系ラットを用いた過剰排卵卵の正常性評価

- 上迫努、江藤智生
(財) 実験動物中央研究所 動物資源管理部

P-12 人工授精による老齢ミュータントラットの世代更新および受精卵保存

- 梅垣武史¹、倉持隆司¹、松尾美奈¹、宝珠山京子²、田畑一樹²、上條信一¹
¹三菱化学生命科学研究所、²日本チャールス・リバー (株)

14:55~15:15

水品 洋一

国立遺伝学研究所

P-13 実験動物施設における二酸化塩素液消毒後の廃液処理に関する検討

- 久光徹吉、山中宏明、竹中健太郎
日本チャールス・リバー (株)

P-14 ネットワークを利用した動物施設管理

- 青木誠一郎^{1,2}、長谷川英樹³、小林喜美男¹、若菜茂晴¹
¹(独) 理化学研究所 GSC ゲノム機能情報研究グループ
²(株) ジェー・エー・シー、³(株) 朝日工業社

P-15 ビニールアイソレーター改良に伴う吸・排気フィルターの選定

- 今井都泰¹、日置恭司¹、矢崎 薫²、鶴藺伸幸³、齊藤宗雄¹
¹(財) 実験動物中央研究所、²日本クレア(株)、³(株) 野村事務所

P-16 飼育の環境要因としての床敷の状態がマウスの探索行動量に与える影響

- 金井富三夫¹、多田昇弘²、塚田隆治¹、長岡功^{1,3}
¹順天堂大学大学院 疾患モデル研究センター 特殊疾患モデル部門
²同大学院 アトピー疾患研究センター、³同大学院 生化学・生体防御学

14:30~14:50

石井 一

国立精神・神経センター

P-17 S100B 蛋白の過剰発現は脳虚血負荷後の脳損傷と虚血辺縁領域グリコーシスを増強する

- 小山直基、野島良子、龍前真也、新井宏美、石川祥子、森隆
埼玉医科大学・総合医療センター・研究部

P-18 ウサギ耳介動脈からの繰り返し採血の検討

○村田龍介、関剛幸、渡辺千朗、臼見亜紀、宿野部和一、畔上二郎
(財) 食品薬品安全センター秦野研究所

P-19 カニクイザルの犬歯処理

○前島正雄¹、東郷睦¹、羽成光二¹、岡林佐知¹、大藤浩美¹、吉田高志²
¹(社) 予防衛生協会、²(独) 医薬基盤研究所

P-20 サル類腸内細菌検査結果を動物施設の衛生状態の指標とするための一考察

○成川覚¹、箱田詩織¹、山口龍二¹、松田優一¹、河合直士¹、北爪雅之¹
亀井淳¹、重兼弘法²、石田有香²、小久保年章²、西川哲²
¹(株) ネオス・テック、²放射線医学総合研究所 実験動物開発・管理課

14:55～15:20

保田 晶彦 (財) 実験動物中央研究所

P-21 ポリオーマウィルスのPCR検査

○梶田亜矢子、小澤雅司、岡本裕行、吉木淳、池郁生
(独) 理化学研究所 バイオリソースセンター実験動物開発室

P-22 マウスの微量血清検査

○池郁生¹、梶田亜矢子¹、小澤雅司¹、岡本裕行¹、吉木淳¹、青木弘良²、加瀬廣²
山形豊³
¹(独) 理化学研究所 バイオリソースセンター実験動物開発室
²(株) フェーエンス、³(独) 理化学研究所 VCAD システム加工応用チーム

P-23 *Staphylococcus aureus* 検出を目的とした培地の検討

○山下由貴子、丸山滋、山口哲男、北尾紗代子、藤田裕子、林貴代、伊藤雅起
日本チャールス・リバー (株)・技術センター

P-24 無菌マウスの盲腸における抗酸化酵素スーパーオキシドディスムターゼの活性

○土橋悠¹、東由紀子¹、松井航¹、宮川佳彦^{1,2}、川角浩¹、天尾弘実¹
¹日本獣医生命科学大学 動物科学科 実験動物学教室
²東京女子医大学 実験動物中央施設

P-25 チンチラから分離された *Pseudomonas aeruginosa* の性状解析と薬剤感受性

○平川泰子¹、佐々木啓²、川本英一²、青山直弘¹、川角浩¹、天尾弘実¹
¹日本獣医生命科学大学・実験動物学教室、²東京医科大学・動物実験センター

5 懇親会 18:20～20:20

会場 : 6階 英一番館

会費 : 4,000円 (総合受付で申込)

催物 : 一般演題 (ポスター発表) のベストポスター賞の発表と表彰および投票者への抽選と受賞を行います。

【参加者へのご案内】

1 受付

- ・一般参加受付は懇話会当日の9:00からおこないます。
- ・受付時に講演要旨集と参加章およびネームフォルダをお渡しします。会場内では参加章着用を願います。ネームフォルダは帰る際に総合受付に返却下さい。

2 懇話会 参加費

- ・会員 3,000 円、非会員 5,000 円、学生 2,000 円。
- ・懇話会当日の一般参加受付時に徴収致します。

3 ランチョンセミナー

- ・セミナーは懇話会参加者であれば参加自由です。
- ・昼食を用意致しました。懇話会当日朝から総合受付で引替券を配布致します。発券は先着順です。数に限りがありますので、ご承知おき下さい。
- ・弁当の引き替えは 12:15 からセミナー会場（6 F 大会議室）で行います。弁当はセミナー会場でお召し上がり下さい。

4 ベストポスター賞

- ・内容が分かり易くデザインが綺麗なポスターの演者が対象です。
- ・皆様の投票で受賞が決まります。また投票者へも抽選で商品が当選します。
- ・投票用紙は講演要旨集と一緒に配布します。ポスター会場の投票箱に必要事項をご記入の上、投函下さい。
- ・ベストポスター賞発表と投票者の抽選は懇親会でおこないます。懇親会に不参加の場合は次点が受賞・当選します。

5 口頭で発表する方へ (PC等の準備について)

- ・ PC (Windows か Mac のパワーポイント) は会場の機体もご利用できます。
- ・ ご自身の PC を持参頂いても結構です。特に OS の不一致や動画が動かない恐れがある場合はご持参願います。また PC 持参の場合は、プロジェクターにつながるコネクターも合わせてお持ち下さい。PC の動作確認は立ち会いを願います。
- ・ メディアは、USB フラッシュメモリーか CD-R と致します。また会場の PC とメディア内情報の互換性がない場合を想定して、別のタイプのバックアップデータも準備願います。

6 シンポジウム・特別講演・ランチョンセミナーの演者の方へ

- ・ 各演題の開始 30 分前までに総合受付で申請願います。
- ・ PC やメディアに関しては 5 を参照下さい。
- ・ ランチョンセミナーの PC 動作確認は受付後、6F 大会議室でおこないます。
- ・ 次演者席には講演 10 分前までにお着き下さい。

7 一般演題の演者の方へ

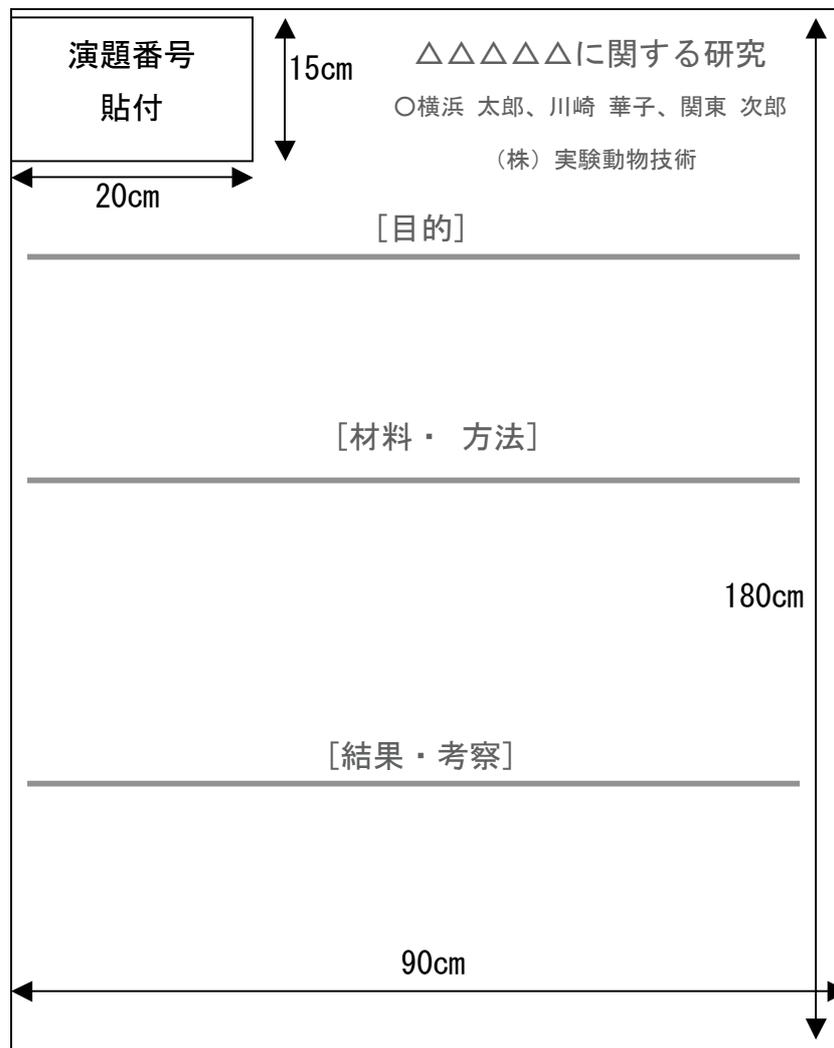
1) 口頭発表

- ・ 発表時間は、口頭 8 分と質疑応答 2 分の合計 10 分です。
- ・ O01~05 は 9:10 までに、O06~10 は 10:00 までに総合受付で申請願います。
- ・ 発表に使用する PC の条件は 5 を参照下さい。
- ・ 次演者席には講演 10 分前までにお着き下さい。

2) ポスター作製要項・展示・発表

- ・ ポスターは上から演題名、発表者氏名、所属の順に表記願います。発表者が連名の場合、懇話会当日の発表者氏名の前に○印を入れて下さい (例参照)。
- ・ ポスター貼付スペース：縦(上から)180cm×横 90cm。左上端の縦 15cm×横 20cm は演題番号が入ります。
- ・ 2F 小ホール前ロビーのポスター用パネルに、準備演題番号に準じて貼付を願います。画鋲は受付にあります。
- ・ ポスター展示時間：貼付(10:00~12:15)・撤去(18:00~18:20)。
- ・ 発表時間は 14:30~15:20 です。演者は 10 分前にポスター会場に集合下さい。
- ・ 発表時間は口頭 3 分と質疑応答 2 分の合計 5 分です。

[ポスター作成例]



8 座長・司会者の方へ

- ・各演題の開始 30 分前までに総合受付で申請願います。
- ・各演題の開始 10 分前までに発表会場に待機願います。待機場所は受付時に連絡致します。

9 その他

- ・会場内では基本的に写真・動画の撮影を禁止します。
- ・喫煙は所定の位置で願います。
- ・会場内での携帯電話のご使用はご遠慮下さい。

日本実験動物技術者協会 関東支部

平成19年度 総会

会期 2008年2月23日

13:40～14:10

会場 神奈川県民ホール6F 大会議室

【式次第】

1. 開会
2. 議長選出
3. 平成19年度事業報告
4. 平成19年度会計報告
5. 平成19年度会計監査報告
6. 関東支部名誉会員・顧問の選出
7. 平成20年度事業計画
8. 平成20年度予算
9. 質疑応答
10. 閉会